

研究実施のお知らせ

2020年10月26日 ver.1.0

2021年11月20日 ver.2.0

研究課題名

Zeptoによる前嚢切開を行った白内障緑内障同時手術の記述

研究の対象となる方

2020年9月から2023年10月の間に島根大学医学部附属病院で白内障と緑内障の同時手術を行った際にZeptoを用いて前嚢切開を行った方

研究の目的・意義

緑内障手術の際に白内障手術を同時に施行することがあります。白内障手術では、前嚢切開を行った後に混濁した水晶体を除去します。緑内障に合併する白内障は、小瞳孔や浅前房のために、前嚢切開の難度が高い事があります。Zeptoは前嚢切開を半自動的に行う事ができる新しい機器で、当院では2020年9月以降に使用を開始しました。本研究では、白内障と緑内障の同時手術を行った際にZeptoによる前嚢切開を行った方についてZeptoが安全に施行されたかどうかを調査します。

研究の方法

対象となる患者さんの手術ビデオの所見から、Zeptoにより前嚢切開を行う事ができたかどうか、手技に要した時間、手術中の合併症の有無を調査します。加えて、電子カルテから年齢、性、視力や眼圧などの眼科検査所見を調査します。

全てのデータは匿名化して扱います。収集したデータは、島根大学医学部眼科学講座内の外部から容易にアクセスできないPCに保管します。PCにはセキュリティを設定し、パスワードで使用可能な研究者を制限します。

研究に関するデータ及び関連資料（研究に関する手続き資料を含む）は、研究の終了を報告してから少なくとも5年間保管し、その後消去します。

研究の結果は、眼科関連の学術誌および学会で公表します。その際に、手術中の画像（眼だけが写っている画像）も一緒に公表される場合があります。

研究の期間

2020年12月（研究許可後）～2023年12月

研究組織

この研究は島根大学医学部眼科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する・情報の管理責任者）：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ、いつでも利用を停止することができます。

ただし、結果の公表を既に行っている場合は、ご要望に沿えません。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部眼科学講座 谷戸正樹（たにとまさき）

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2284 FAX 0853-20-2278